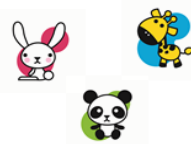




認定子ども園 竹の友幼児園だより



〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田 1978 E-mail takenotomo@town.tagami.lg.jp

NO. 2
R8. 4. 24



※園開放日は、お家の方と一緒にご利用ください。利用方法は玄関の掲示物をご確認ください。

- 2日(土) 希望保育(園開放)
- 3日(日) ④憲法記念日
- 4日(月) ④みどりの日
- 5日(火) ④こどもの日
- 6日(水) 振替休日
- 8日(金) 絵本の時間
- 9日(土) 希望保育(園開放)
- 13日(水) えいごであそぼう(3~5 歳児)
- 15日(金) 歯科検診
- 16日(土) 希望保育(園開放)

- 19日(火) 食育の日
- 20日(水)~22日(金) 保育参観
- 22日(金) フツ化物洗口説明会(4歳児)
園だより配付
- 23日(土) 希望保育(園開放)
- 27日(水) 避難訓練
- 29日(金) えいごであそぼう(3~5 歳児)
各種たより配付
布団・靴持ち帰り
- 30日(土) 希望保育(園開放なし)

4月の子どもたち



新年度が始まってさっそくあちこち散歩に出かけたきりん組、ぱんだ組。竹の友の周りに広がる豊かな環境の中で春の自然に触れ、伸び伸びと過ごしました。

地域に親しみ、交流を求めて出かけたきりん組は、出会った地域の方に「こんにちは~!!」返事をしてもらって嬉しくなりました。これからもいろいろな出会いを求めて、出かけます。



一方、新入園児3名のたまご組では、一人一人のペースに合わせ、ゆったりとした一日が流れています。まずは保育者との信頼関係をしっかりと作り、お家の方と連携して、生活リズムを整えています。

こんな園での様々な生活の様子を、事務室前の学年だよりでは月末に、玄関のドキュメンテーションでは随時紹介しています。年齢に合わせて計画された活動から、子どもの成長や、子どもの思い、保育者の思いも伝わるものとなっています。どうぞ他のクラスの子どもの様子もご覧ください。



園だより・学年だより



ドキュメンテーション

【おむつのサブスク】

(おむつ・おしりふき月額制の使い放題システム)

今年度から導入した「おむつのサブスク」が、新入園児さんのお一人お一人の無料トライアル期間を終え、本格実施となります。申し込み・解約は個人で行っていただきます。新規でお申し込みを希望される場合は、前月の25日までに申し込みください。(担当 副園長 山吉)

【ほいくの窓】

毎月の園だよりに、【ほいくの窓】から子育てのヒントをお伝えしていきます。担当は園内の特別支援部より特別支援コーディネーターの山口が担当いたします。子育ての悩みや相談などがありましたら、担任や山口までご相談ください。必要に応じて、関係機関とも連携し、子どもたちの成長と一緒に支えていきたいと思っております。どうぞご活用ください。



褒め上手、伝え上手になろう!

新年度が始まり、新しい環境の中で、子どもたちはやる気十分な反面、緊張や不安もいっぱい。時には不適切な行動が見られることもあるかもしれません。そんな時、どのような「ことばがけ」をするかで、子どもの行動は変わってきます。特に発達に特性のあるお子さんは、行動の背景に様々な『理由』を抱えているので、それらを読み取り、その上で子どもに伝わりやすくことばがけをすることが大切です。

では、実際にどのようにすればよいのか、具体的にご紹介します。(特性のあるお子さんだけでなく、みなさんに当てはまるものです)



①具体的なことばで

「きちんと」や「しっかり」といった言葉は、抽象的で基準がなく、具体的な状況をつかめません。「ちゃんと手を洗って」は「手を洗う時は、石けんを使って洗おうね」というように、具体的に示すようにします。

②ポジティブな言い方で

「~しないで」「~してはダメ」は「~しようね」「~だとうれしい」とポジティブに変換しましょう。また、褒める際は「手洗ってきたね。次は言われなくてもしようね」などと否定的な言い方をすると意欲が下がってしまいます

③脅す表現は使わない

「〇〇できないと、小学校行けないよ」では怖い感情が先行し、たとえそれができても意欲は生まれません。「〇〇できるとかっこいいよ」など、できた時のいい姿がイメージできる言い方をするといいですね。

④タイミングや姿勢も大切

褒める時は、行動の直後に子どもに近づいて視線を合わせて褒めることが大切です。抱きしめる、ハイタッチするなどの動作もつけると、自分の行動が褒められたことがより実感できます。



以上のことを意識して、褒め上手、伝え上手になりましょう!